



ハートフルなんぶ

2022. 7月号 vol. 297



長野市立南部図書館
 〒388-8006
 長野市篠ノ井御幣川1201番地
 TEL (026) 292-0143
 FAX (026) 292-0559
<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

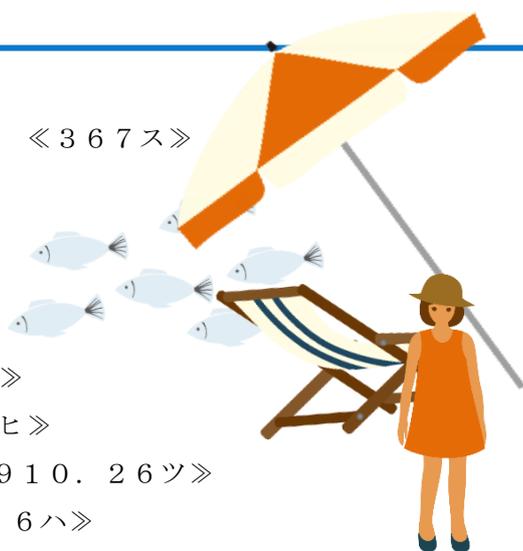
夏季学習室のご利用について

夏休み期間中は平日も2階大会議室を学習室として利用できる日があります。

南部図書館 7 月学習室開放日							南部図書館 8 月学習室開放日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
						休館日			休館日			開放	開放
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
休館日	休館日	休館日				開放	開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
開放		休館日				開放	開放	開放	休館日	開放	開放	開放	開放
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
開放	開放	休館日			開放	開放	開放		休館日				開放
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
開放	開放	休館日				×	開放		休館日		休館日		
30	31												
×	休館日						※ 学習室開放時間 午前10時～午後5時30分まで(時間厳守) ※ 蓋つきの飲み物以外の飲食はできません。(昼食スペースなし)						

新刊案内

- ・『おひとりさま最後の片づけ』 杉之原 富士子/著 講談社 <367ス>
- ・『花に埋もれる』 彩瀬 まる/著 新潮社 <Fア>
- ・『うたかたモザイク』 一穂 ミチ/著 講談社 <Fイ>
- ・『はるか、ブレーメン』 重松 清/著 幻冬舎 <Fシ>
- ・『新・教場』 長岡 弘樹/著 小学館 <Fナ>
- ・『怪人デスマーチの退転』 西尾 維新/著 講談社 <Fニ>
- ・『魔女と過ごした七日間』 東野 圭吾/著 KADOKAWA <Fヒ>
- ・『Another side of 辻村深月』 辻村深月/著 KADOKAWA <910.26ツ>
- ・『マリコ、東奔西走』 林 真理子/著 文藝春秋 <914.6ハ>
- ・『月と散文』 又吉 直樹/著 KADOKAWA <914.6マ>
- ・『アウトドア六法』 中島 慶二/監修 山と溪谷社 <786ア>
- ・『腎臓病とわかったら最初に読む食事の本』 森 維久郎/医学監修/著 家の光協会 <494シ>
- ・『「ヘアゴム」だけ!女の子のヘアアレンジ』 KOMAKI/著 エクスナレッジ <595コ>
- ・『おやつはうちで作るもの』 有元 葉子/著 東京書籍 <596ア>
- ・『老犬暮らしの便利帳』 俵森 朋子/著 誠文堂新光社 <645ヒ>



- 『超ラジオ体操』 谷本 道哉／著 扶桑社 <781キ>
- 『そのときラジオは何を伝えたか』 米村 秀司／著 ラグーナ出版 <369ヨ>
- 『ラジオと地域と図書館と』 内野 安彦／編著 ほおずき書籍 <699ラ>
- 『人生のBGMはラジオがちょうどいい』 春風亭 一之輔／著 双葉社 <699シ>
- 『NHK 国際放送が選んだ日本の名作』 朝井 リョウ／著 双葉社 <BFエ>
- 『プロパガンダ・ラジオ』 渡辺 考／著 筑摩書房 <699ワ>
- 『カムカムエヴリバディ』 平川 洌／著 NHK出版 <830ヒ>
- 『台所のラジオ』 吉田 篤弘／著 角川春樹事務所 <Fヨ>
- 『NHK ラジオ深夜便文豪通信』 中川 越／著 河出書房新社 <910.26エ>
- 『あの日を刻むマイク』 武井 照子／著 集英社 <699タ>
- 『ラジオ体操は65歳以上には向かない』 戸田 佳孝／著 太田出版 <781ト>
- 『ラジオ深夜便わが心の人』 迎 康子／聞き手 NHK サービスセンター <281ラ>



ESSAY

ラジオ放送

寄稿：チュルル

小学生の時、夏休みの日課は先ずラジオ体操だった。寝坊した日にはスタンプカードを首に下げ、くつを引っ掛け会場までつっ走った。会場は子どもの遊び場でもあるお宮で、青葉の繁った境内はひんやりとしていて、ほてった体に心地よかった。

四・五年前、近くの公園で行われているラジオ体操に夫と二人で参加して驚いた。手、足、身体が重い。50才位までは階段なんぞすべるように駆け降りていた。子供の頃は腕を伸ばせばどこまでも伸び、飛び跳ねると天までも届くような身軽さだったのに。日頃の運動不足が悔やまれた。

ラジオ放送が始まったのは、関東大震災から一年経過した一九二五（大正十四）年三月二十二日、その第一声は「JOAK、JOAK、こちらは東京放送局でございます。」だった。（『ラジオのお仕事』より）そして太平洋戦争勃発昭和十六年十二月八日、終戦は昭和二十年八月十五日水曜日、正午、天皇陛下のご詔勅がラジオ放送された。戦後生まれの身には、計り知れない戦禍の悲惨と終戦の日の脱力感を父母から何度も聴いていた。

おりしも、先進7か国首脳会議、G7広島サミットが五月十九日金曜日～二十一日の三日間、開催された。初日の日程は、原爆資料館を視察。原爆慰霊碑に献花する様子がテレビ放映された。被爆地広島 of 悲惨な光景を世界に発信し、核兵器廃絶を強調して欲しいと思う。二十日には、ウクライナのゼレンスキー大統領が参加された。

夫が生前、聞いていたNHKのラジオ深夜便を最近聞くようになった。眠りをじゃましない穏やかな口調のアナウンスに、いつのまにか寝入ってしまう。

参考文献：『ラジオのお仕事』室井 昌也／著 勉誠出版 <699ム>
『あの日を刻むマイク』武井 照子／著 集英社 <699タ>



南部図書館 開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■ は休館日です

2023年7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2023年8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		